

## 令和元年度 長崎大学新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 在宅・地域医療実習

実習生 : 武田 達哉  
実習先 : 安中外科・脳神経外科医院  
長崎宝在宅医療クリニック  
奥平外科医院  
白髭内科医院  
出口外科医院

実習期間: 令和2年1月16日(火)~2月20日

### 実習生感想

今回在宅医療の実習を通して、どのような患者がどの程度の医療を提供できるのか、また在宅医はどのように考え治療を行い、放射線治療にはどのようなタイミングで紹介しようと考えているかを知るといふのを目標に実習させていただきました。今回、様々な在宅医を見て勉強したことなどを以下に記載していきます。

#### ① 安中外科・脳神経外科医院 1月16日、2月13日

一番最初に在宅実習に伺わせていただいたため、在宅医療でどのようなことができるかを初めて肌で感じることができました。21歳脳性麻痺で呼吸器管理を行っている方から、99歳独居のお元気な高齢の方など、患者の状態や対応も様々に行っていることを知りました。また、自分のクリニックは有床であり、デイケアなども行える状態と幅広くやられており、必要に応じてすぐにサービスの提供ができているのも素晴らしいと感じました。

2回目に伺った際には既に何回か別の在宅医で見たあとであり、改めて安中先生は診察のスピードと患者のお話を親身に聞くのを両立されており、患者さんとの信頼関係が素晴らしいためだと実感しました。

#### ② 長崎宝在宅医療クリニック 1月21・23・30日、2月6日

一番多く関わらせていただきました。こちらのクリニックでは4人の先生方が在宅をされており、私は松尾先生と森先生(松山町で胃腸科もりクリニックを開業されている先生)に付いて実習いたしました。

こちらは患者の人数が多い上に、東長崎から南長崎など長崎全体を回っている状態(野母崎まで行っていたこともあったようです)であり、とにかくスピードが大事でした。その中で必要な医療を患者様に提供できているのは、知識や実践力があることの現れだと感じました。

こちらでは一人印象的な患者様がいました。元々Lambert-Eaton 症候群の患者様で、

AAAが破裂しかかって入院したことがある患者様がいました。しかし、医療を受けるのがとても嫌な方であり、入院による治療は困難で家に帰らざるをえない状況でした。しかも、家族とは疎遠であり、誰の協力も得られない方でした。その中で、松尾先生が在宅として引き取り、異常死と扱われないよう毎日診察に行き、ヘルパーなどの協力も結びつけていました。患者様はそれでも感謝はしないような方ではあり、毎日の診察も嫌がるような方でありました。このように患者様から感謝されなくても、必要だからという理由で一生懸命やる姿にとっても感動いたしました。



③ 奥平外科医院 1月28日、2月4日

奥平先生はとても温厚な方で、患者さんのお話を優しく聞いているのがとても印象的でした。その中で、iPadを駆使しながらあじさいネットを活用しており、このように利用するものと理解できました。また、CV portでTPNを行っているのをたくさん診せていただきました。中でもバッグに高カロリー輸液を入れて点滴することができるという事実を知ったのはとても大きなことで、今後在宅に移行する際にCV portでも大丈夫という確信をより一層高めてくださいました。



④ 白髭内科医院 2月18日

今回実習させていただいた中で唯一の内科医であるためか、他の先生方と少し雰囲気が違うように感じました。やはり主義という点は外科の先生方が強い印象ではあるものの、お薬の選択や点滴の選択、タイミングなどは内科ならではのしっかり考え方を持っていると感じました。一回しか実習できませんでしたが、もう少し一緒に実習できたら内科的な考え方をもっと勉強できたと思うと少し残念です。

⑤ 出口外科医院 2月20日

一番最後に実習させていただいたのですが、それでも勉強になったと感じました。患者さんとの雑談も上手であり、その中で大事な会話も含ませており、話し方の勉強になりました。ちょうどもう余命がわずかな肺がん末期を2名診せていただき、その場合のご本人や家族への対応は、私が病院で仕事する際にも使わせていただこうと考えました。

ちょうど私の患者さんが紹介になったということもあり、この先生なら任せられるという印象があったのがとても嬉しかったです。

以上、たくさんの先生方にお世話になりながら勉強させていただきました。今回、元々考えていた目標は、移動の最中のお話も含めて達成できたのはとても有意義でした。また、現在主治医として働いている身としては、改めて別の医師のI.C.に同席させていただいたこともとても勉強になりました。それ以外にも臨床腫瘍学のスタッフにもご協力いただき、在宅実習を終えることができました。関係者の方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

<実習報告会>

